

日本キリスト教団 土佐教会

# 週報<在宅礼拝版>

## 新型コロナに関する土佐教会の対応について

役員会は8月17日、高知県が警戒レベルを「特別警戒」に引き上げた(16日)ことを受けて協議した結果、礼拝は教会に集わない在宅礼拝とし、その他の集い及び活動も原則休会、延期することに致しました。

さらに県は「緊急事態宣言」に引き上げ(20日)、27日からは「まん延防止等重点措置」の対象に加えられました。今もなお感染拡大は厳しい状況にあると受け止めています。

予防対策をゆるめずに徹底してまいりましょう。感染のリスクが高い行動は慎みましょう。不要不急の外出を極力控えましょう。どうか、引き続いてのご理解とご協力をお願い致します。

### 「在宅礼拝」について

- 出来る限り同じ時間、同じ順序で礼拝を守りましょう。
- 讃美歌や聖書の用意のない方は、事前に教会にお知らせくだされば準備させていただきます。
- 献金は在宅礼拝毎に献げるように心がけ、月次などと併せて次に教会に行く時に献げましょう。

## 聖霊降臨節第15主日 礼拝順序

日時 8月29日(日)午前10:30～11:15

場所 各自の居場所/礼拝堂

司会：中川良介

講壇：田村隆明

奏楽：畠中和華

黙 禱

讃美歌 456(1,4) ♪わが魂を愛するイエスよ

主の祈り

聖 書 マルコによる福音書4：35-41  
(新p,68)

お 祈 り

福音告知 「嵐の中を渡る時」

讃美歌 532(1,2) ♪やすかれ、わがころよ

献 金

讃美歌 II163(1,3) ♪主イエスの み名こそ

黙禱(祝禱)

## ○ 聖書 マルコ4：35-41(新共同訳. 新p, 68)

その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

### ○「主の祈り」

天の父よ

み名があがめられますように。み国が来ますように。みこころが天で行われるように、

地上でも行われますように。

わたしたちに今日も、この日の糧をお与えください。わたしたちに罪を犯した者をゆるしましたから、

わたしたちの犯した罪をおゆるしてください。

わたしたちを誘惑から導き出して、

悪からお救いください。

み国も力も栄光も

とこしえにあなたのもものだからです。

アーメン



## ○ お祈り

下記のことを覚えていただき、各自自由にお祈りください。一人一人のお祈りを等しく汲み上げてくださる主が、御心と祝福をもって応えてくださいますように。

・新型コロナ感染拡大が一日も早く終息しますように。癒されますように。拡大防止や終息のために、各分野の最前線に従事している方々が支えられますように。感染症対策に誠実に取り組んでいきますように。各自が担う尽力、自粛、忍耐が豊かな実を結びますように。

・残暑が厳しい日々、教会につながる方々、互いにお祈りに覚える方々の日々の歩みが守られ、支えられますように。

## 【予告】

◇ 9月5日(日)

- ・ 礼拝 (在宅) 午前 10:30～11:15  
讃美歌：351(1,3)、412(1,2)、521(1,4)  
聖書：ルカ 13：6～9 (新p,134)  
福音告知：「もう一年、もう一度」

- ・ 定例役員会 11:30～12:30@礼拝堂・Zoom

## ○ 福音告知

嵐の中を船で渡る時、主イエスは眠っておられ、弟子たちは「先生、私たちがおぼれてもかまわないのですか。」と言いました。主イエスは起きて、波や風を一言で静めておしまいになりました。

この弟子たちの「私たちがおぼれてもかまわないのですか。」という言葉に心が留まります。何か主イエスに甘えているような、子供のような弟子たちの姿、子供が親の愛情をためすような言い方です。「先生」「ラビ」と呼んでいますので、まだ主イエスのことをユダヤ教の教師だと思っていて、この人について行って大丈夫だろうか？と試すような思いがあったかもしれません。

この「私たちが死んでも」の「死ぬ」ということばは、原文では「滅びる」ということばです。当時の人々は、海や湖は、得体の知れない魔が住むところだと考えていました。船板一枚の下には、底知れない闇が広がっている、そこに死が、滅びが待っている、そう思った魂の恐れにこそ、主イエスは、単なるラビではなく、天地のつくりぬしである神のひとり子の権威をもって「黙れ。静まれ。」と仰ってください。

この福音書が書かれた頃は、すでにローマ帝国の教会に対する迫害が始まっておりました。そのような厳しい中で、初代教会のキリスト者たちはこれを「これは私たちの物語だ」と思って読んだのです。迫害の嵐の中で、教会という船は沈みそうに見えたのです。

私たちも状況は違えど、嵐の中にあります。この世界的なパンデミックという嵐、それに伴う経済的な危機という嵐など、それぞれの人生において体験しておられると思います。しかし、皆さんの船には主イエスが乗り込んでおられます。だから大丈夫、あなたの船は沈みません。あなたの人生の海のさまざまな嵐にこそ今、主イエスは「黙れ。静まれ。」と力強く宣言なさっています。

## 【報告】

- (1) 22日礼拝—出席 16名、献金 15,350円。
- (2) 臨時役員会報告(22日@礼拝堂・Zoom)—再び「在宅礼拝」期間に入ったことを受けて協議。掃除当番もお休み、礼拝後に有志で担う。礼拝献金袋を配布する。教師が講壇奉仕出来ない場合の対応確認。相互のつながりのための働きかけの検討など。次回 9/5。13名出席。
- (3) 23日、西日本同信伝道会が松山学院でもたれ、リモートでつながる当教会でも7名が参加しました(潮江教会と合同)。

## 【お知らせ】

- (1) 本日は、特別講壇としまして田村隆明牧師をお迎えしての礼拝です。

＜田村隆明牧師のご紹介＞

高知生まれ高知育ち、18歳で音楽の専門学校に進み、音楽制作会社で働きその後帰高。単立・高知クリスチャンセンターで信仰を与えられ22歳の時に受洗。その後、同教会内の神学校ニューホープバイブルセミナリを卒業後、按手を受け、同教会の副牧師としての働きを続けながら、その後神戸ルーテル神学校に進み、卒業。2021年3月末で高知クリスチャンセンターが閉所。現在は潮新町のカフェを借りて礼拝を始めている。ユーチューブチャンネル「土佐の高知のバイブルチャンネル」を運営。

- (2) 礼拝献金袋を送付させていただきます。在宅礼拝の期間、礼拝毎の献金にご活用くださり、次に教会に行く時に献げましょう。